

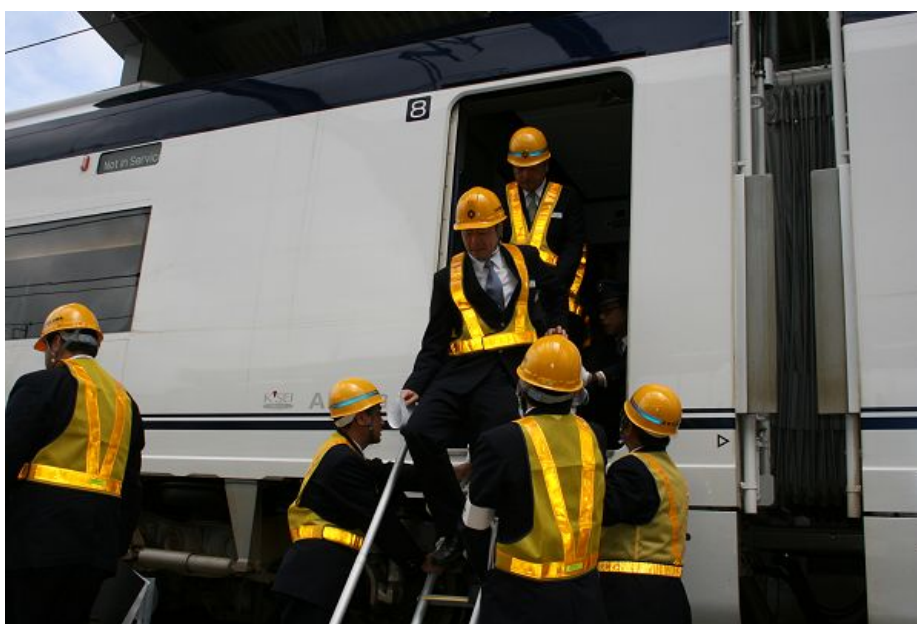
成田スカイアクセス開業準備の一環として
成田スカイアクセス異常時訓練を実施しました
5月28日（金）午前10時10分から成田湯川駅にて行いました

5月28日（金）午前10時10分から、成田湯川駅（千葉県成田市・7月17日開業予定）で「成田スカイアクセス異常時訓練」を実施いたしました。

当社では年1回、毎年12月に異常時総合訓練を実施しておりますが、この訓練は、本年7月17日（土）に開業する成田スカイアクセスの、新線開業準備の一環として実施したものです。

成田スカイアクセス開業後は、在来線では最速となる最高時速160kmで走行する新型スカイライナーを運行し、都心と成田空港を最速36分で結びます。この訓練では、空港アクセスとして重要度が高まることに鑑み、社員一人ひとりの安全意識や、輸送の安全確保と事故発生時における復旧処理能力・技術力の一層の向上を図りました。

当日は、当社運輸部（乗務員・駅係員）、車両部、施設部（保線・電気および協力会社）の合同で実施し、列車防護（事故列車に他の列車が衝突する等の二次災害を防ぐ処置）、お客様の避難誘導、事故復旧に向けた出動訓練、転てつ器取扱い訓練を実施いたしました。



成田スカイアクセス異常時訓練の様子

成田スカイアクセス異常時訓練の実施について

1. 日 時 平成22年5月28日（金） 午前10時10分～12時50分

2. 場 所 成田湯川駅（平成22年7月17日開業予定）
住 所：千葉県成田市松崎1620-1

3. 参加人員 約150名

4. 訓練の概要

（1）運輸部

①列車防護訓練（乗務員）

事故列車に他の列車が衝突する等の二次災害を防ぐ処置をする訓練を実施

②避難誘導訓練（乗務員・駅係員）

新型スカイライナー（AE形）を使用し、お客様の避難誘導訓練を実施

③転てつ器手動訓練（駅係員・施設部）

成田湯川駅の転てつ器を手回しで取扱う訓練を実施

※ この転てつ器は、直線側・分岐側両方を運転最高速度の時速160kmで通過できる、国内最大級のものです。

（2）車両部

列車が印旛日本医大～成田湯川間を走行中に異常を感知し、車両床下から発煙していることを確認、印旛日本医大～成田空港間の上下線で運転を見合わせしたことを想定し、以下の訓練を実施

①連絡体制の確認

②緊急復旧機材等、持ち出し品およびリストの確認

③現地までの移動手段とルートの確認

④出動

⑤緊急自動車の搬入路の確認

（3）施設部

成田湯川駅構内の軌道（線路）回路異常並びに、架線に飛来物が付着し、印旛日本医大～成田空港間の上下線で運転を見合わせたことを想定し、以下の訓練を実施

①連絡体制の確認

②緊急復旧機材等、持ち出し品およびリストの確認

③現地までの移動手段とルートの確認

④出動

⑤緊急自動車の搬入路の確認

以 上